

II 各論

1 各論の内容

本章では、分類群の概説、掲載種リスト、種の解説、文献について分類群ごとに掲載した。概説では、各分類群の県内における現状や調査内容、掲載種の概要などについて記述し、種の解説では以下の項目について記述した。項目についての該当事項が無い場合は、その項目を削除した。なお、情報不足種（DD）は、上記項目の一部についてのみ記述した。

○種名等

和名、学名、目科名等を記載した。なお、分類に採用した文献については各分類群の概説に記した。

○カテゴリー

改訂版三重県レッドデータブックでのカテゴリー、及び改訂前の三重県レッドデータブック 2005 でのカテゴリーを併記した。また参考として、環境省第 4 次レッドリストのランクを、維管束植物と鳥類については、近畿地方のランクも記した。

○メッシュ分布図

標準地域メッシュ・システムによる 2 次メッシュ（国土地理院 2 万 5 千分の 1 地形図相当）で既知の分布を表示した。なお、一部の種については、過去に生息していたが、溜め池などの生息適地の消滅などにより現状では明らかに生息・生育していない地点については「×」で表示した。また、一部の種については保護上の配慮から非公表とした。なお、メッシュ分布図の作成においては、フリーソフト「地理情報分析支援システム MANDARA」(<http://ktgis.net/mandara/>)を使用した。

○選定理由

カテゴリー・チェックシートの内容を参考に、主な選定理由を簡潔に記載した。

○種の概要

形態や生態の概要を簡潔に記述した。

○分布

該当種の分布域について簡潔に記し、今回の調査により明らかとなった県内の分布については原則として市町名で、生息地の公表による悪影響が懸念される種については地域名で表した。行政および地域区分は図 1-1 に掲載した。

○現況・減少要因

現在の生育・生息状況と、減少の要因等について記述した。

○保護対策

現在行われている保護活動や、これから講じる必要のある具体的かつ現実的な対策案について記述した。

○特記事項

法令関係や上記の項目に該当しない事項について記述した。

○文献

文献名は分類群単位でまとめて掲載し、各種の本欄には文献番号を記した。なお、文献については、生息・生育情報の参考としているものもあるが、過去の生息・生育状況について全ての文献を挙げると膨大な文献の量になることから、種によっては一部のみを挙げている。

参考文献

江崎保男・和田 岳（編）. 2002. 近畿地区・鳥類レッドデータブック—絶滅危惧種判定システムの開発.

京都大学学術出版会, 京都, 225 pp.

レッドデータブック近畿研究会（編著）. 2001. 改訂・近畿地方の保護上重要な植物—レッドデータブック—近畿 2001. 財団法人平岡環境科学研究所, 川崎, 164 pp.

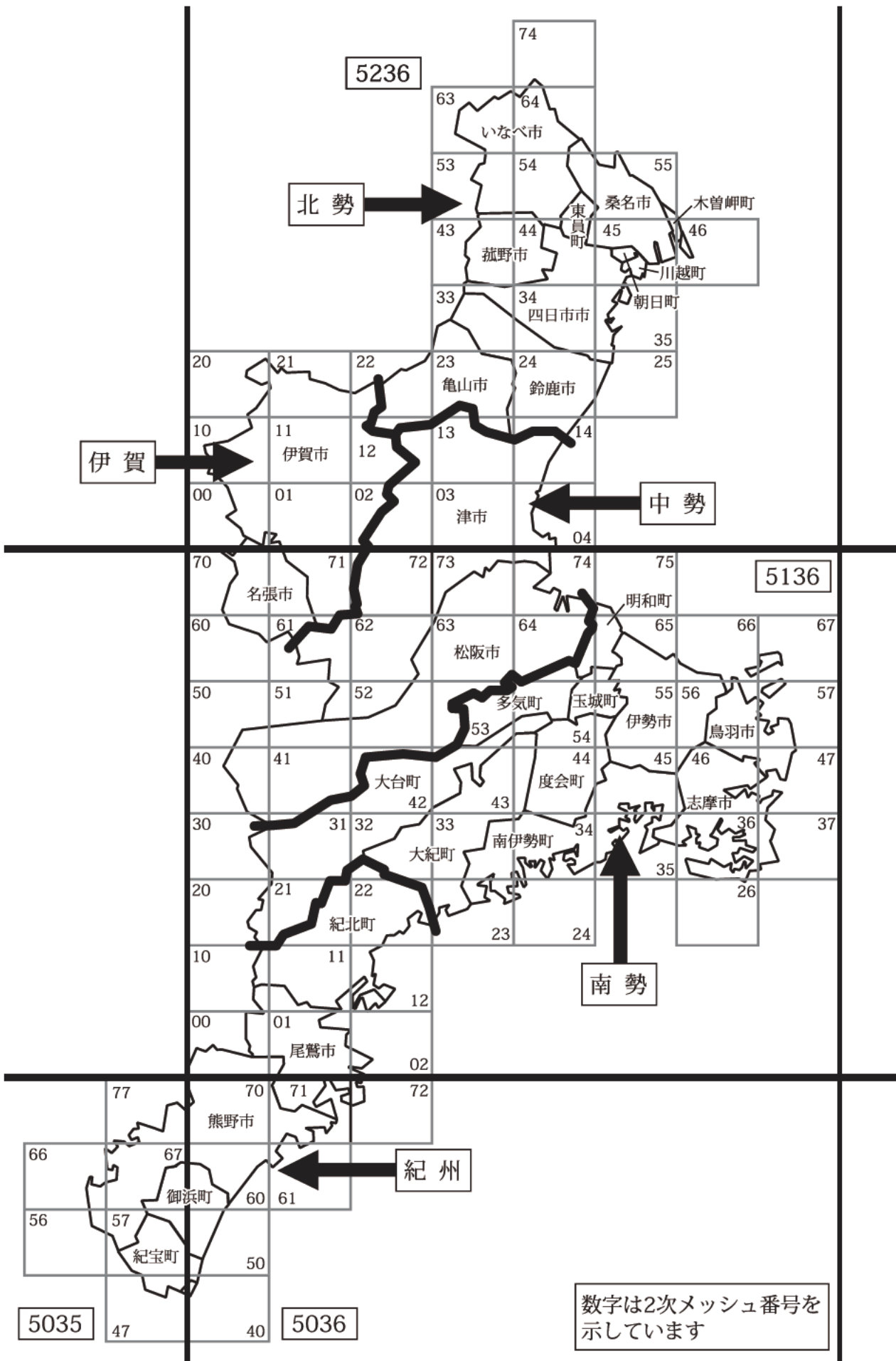


図 1 - 1 三重県行政区分, 地域区分および2次メッシュ.